

INFORMATION & OTHERS

モトクロスはライダーとお客さんが主役です！

北上してきた台風 19 号の接近で開催そのものが危ぶまれた今大会。東に進路が逸れたとはいえ、もどんな影響が残るかわかりません。特に土曜日は突風などに十分注意してレースを楽しんでください。台風一過の後は強い日差しと気温の上昇にも要注意。コースサイドで観戦しているみなさん

まだまだ熱中症には気を付けてください。椅子に座っている観戦中もこまめに水分を摂取することが何より大事です。もしも観戦中気分が悪くなったり調子の悪い方がいたら、すぐ近くにいるオフィシャルに声をかけてください。お近くの年配の方やお子さんにも気を付けて貰えると助かります。

開幕戦とはまた違うドラマチックな展開が期待できそうな秋の HSR 九州。今回コースレイアウトが若干変わっています。観戦席に陣取って見るのもいいですが、外周路をぐるっと回ることができるので、お好きなポイントを探してみるのもお勧めです。成田選手と山本選手、横山選手と大倉選手の勝負の瞬間が目撃できるかも。横山選手に関しては、ジャンプでマシンを真横に振って低く飛ぶ「スクラブ」という技にも注目です。カメラ好きな方には絶好

のシャッターチャンス。切れっ切れの瞬間を狙ってください。

ワイドコーナーとストレートでハイスピードな HSR 九州ですが、全日本の前には大量の砂が搬入されるのもモハヤお馴染み。サンドコースは砂浜を走ることイメージすれば想像できると思うのですが、前に進むのがとにかく大変。そこを数十馬力のマシンが掘り返すので路面はどんどん荒れて変化します。見た目は同じでもライダーにとっては毎回違うコースに挑むようなもの。ある意味オフロードの醍醐味と言っているでしょう。アクセル全開の加速とスピードをどう維持するか。ライダーたちのテクニクに注目してください。

レース開始前にはサイティングクラブという下見走行の時間があるんですが、その時に選手の紹介があります。全員が戻ってくるのに5分くらいかかるので、出陣するライダーたちに声援を送って、好きな観戦ポイントに移動するのもアリです。

一カ所に陣取って見るなら最終ストレート横の高台観戦エリアがお勧め。コースサイドでライダーに声援を送るなら1コーナーを回った先のクランクやロードコース側のセクションもオススメです。次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、今年から IA1 が白地に黒文字に変更となりました。逆に黒字に白が IA2、青地に白が IB、IA1 と同じ白地に黒で車体の小さなマシンが LMX、以下ジュニアクラスは赤地

に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっております。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTM がオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1 の成田選手と IA2 の横山選手が使用する赤地のゼッケンは、レッドプレートと言ってポイントランキングトップの証です。予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。

ここまで読んで「????」となってしまう方、スタートゲートの後方で販売している公式プログラムをぜひ手に入れてください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰か分かるようになってくるはず。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身の××選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。公式プログラムを手に入れて、なんども見返してください。

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

今回台風の影響で若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1 の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はパドックにも出かけてみてください。各メーカー、チーム毎にトップライダーのサイン会やプレゼントが貰えるじゃんけん大会など様々なイベントや展示が行われています。たまたますれ違ったライダーと写真を撮ったり、走り終えたライダーをパドックに訪ねてポスターにサインをもらうとか、多くのライダーが用意しているゼッケンシールを集めるとか、レース以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布しているのですが、せっかくの連休 HSR の近くにはいい温泉や観光名所、美味しい物もたくさんあるので、寄り道しながらのんびり帰ってはいかがでしょう。

そして残るは最終戦 SUGO。ちょっとした遠いですが、タイトル決定の瞬間や最後のドラマ、感動の瞬間をぜひ見届けに来てください!! MXING & MC Square 木田 淑

必ず対応してもらえます。ちなみにメーカー毎に配布している応援用の旗は、持ち帰って 2 枚重ねて縫い合わせると、かわいい巾着袋が作れると近頃評判です。

走り終わって砂まみれになったマシンをあとと言う間にピカピカにしてしまうメカニックさんの仕事ぶりにも注目。また、ワークスチームはスタート後方の通路を進んだ先に展開しています。将来的な開発テストとライダーの好みに合わせた作り込みを同時進行させながら、マシンの性能を高める作業を行っています。メーカーの威信を背負うライダーももちろんですが、プロメカニックの仕事ぶりも一見の価値があります。ライダーのコスチュームにも注目。派手なデザインばかりに目が行ってしまいがちですが、転倒などアクシデントが多い競技なので、安全への配慮も怠りません。「アレ、何だろう?」と思ったら思い切ってライダーやスタッフさんに質問しちゃいましょう。みんな気さくに答えてくれるはず。もし「それはちょっと答えられません。」と言われたら、それこそ大きな秘密が隠されているに違いありません。

今すぐ知りたい。MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが今年もやっています。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをご提供中です。



編集後記

これ書いてる今も台風 19 号の情報に気がなって仕方ありません。土曜日の朝までにちゃん到着かな。日曜日はもう心配ないと思うんですが、関係者や本州から遠征してきたファンにとっては帰り道も気になりますよね。早く帰りたい気持ちもわかりますが、せっかくの連休 HSR の近くにはいい温泉や観光名所、美味しい物もたくさんあるので、寄り道しながらのんびり帰ってはいかがでしょう。

そして残るは最終戦 SUGO。ちょっとした遠いですが、タイトル決定の瞬間や最後のドラマ、感動の瞬間をぜひ見届けに来てください!! MXING & MC Square 木田 淑



全日本モトクロス選手権シリーズ第7戦九州大会は、10月12~13日に熊本県菊池郡大津町のHSR九州オフロードコースで開催される。シーズンはいよいよ終盤のクライマックスへと突入。IA1クラスは最多勝、最多タイトル共に前人未踏の記録を更新し続ける成田 亮が、IA2は初タイトルへと突き進む横山遥希がポイント争いをリード、山本 鯨と大倉由揮が僅差でこれを追う。開幕戦以来となるここHSR九州で、絶対に負けられない戦いが繰り広げられる。

快進撃を続けてきた成田 vs. 再逆転を狙う山本の一騎打ち

ホンダのホームでチームメイト同士が激しい火花を散らす。ディフェンディングチャンピオン成田 亮 (#114) とタイトル奪還をめざす山本 鯨 (#400)、ホンダの両エースとカワサキの小方 誠 (#4) の3名が中心となって争われてきた IA1 クラス。しかし小方はシーズン中盤の怪我でタイトル争いから脱落。前回近畿大会では山本が開幕戦以来となるパーフェクトウインを達成し、成田のリードを一気に削り取った。このレース後に成田は鎖骨を骨折していたことを明かし形勢は逆転。共にこのコースを得意としているだけに、成田が史上最多 13 回目のタイトル獲得に向かっている勢いを取り戻すのか、山本が逆転してタイトル奪還に王手をかけるのか、まずは両者の一騎打ちに注目したい。

もちろん他のライバルたちも黙ってはいない。ヤマハのエースとして IA1 クラス 2 年目のシーズンに臨む岡野 聖 (#8) も確実に調子を上げてきた。また第3戦中国大会で逆転勝利を飾った深谷 広一 (#51 / スズキ) にとってここは地元。さらに小島 康平 (#44 / ホンダ) や大塚 豪太 (#155 / ホンダ)、星野 優也 (#166 / ヤマハ) らが懸命に成田、山本を追いかける。復帰が待たれるカワサキワークスの小方と新井 宏彰 (#331)。アメリカで活動してきた富田 俊樹 (#718 / ホンダ) と古賀 太基 (#922 / カワサキ) も台風の日になるに違いない。国内最高峰のハイレベルなバトルを先ずは堪能して欲しい。

ポイントリーダーの横山 vs. 大倉 IA2 にはアメリカ帰りの渡辺が参戦！ 4 月にここで行われた開幕戦でパーフェクト V を達成し、一躍新チャンピオンを決める戦いの主役となった横山 遥希 (#386 / カワサキ)。その横山に向かっている勢いを取り戻すのか、山本が逆転してタイトル奪還に王手をかけるのか、まずは両者の一騎打ちに注目したい。

第 3 戦中国大会でクラス初優勝を飾った大城 魁之輔 (#40 / ホンダ) の怪我による欠場は残念だが、鳥谷 晃太 (#37 / ヤマハ) も十分優勝を狙えるライダーの一人。内田 篤基 (#38 / スズキ) や道脇 右京 (#43 / ホンダ)、地元石浦 諒 (#954 / ホンダ)。ようやく怪我から復帰してきた小川 孝平 (#912 / カワサキ) にも注目したい。

初タイトルに向かって加速する本田チャンピオン 畑尾が帰国参戦!!

タイトル争いではヤマハの本田 七海 (#6) が先行。竹内 優菜 (#4 / ホンダ) と川井 麻央 (#2 / ホンダ)、久保 真 (#5 / ハスクバーナ) が本田を追う

レディスクラスには、昨年のチャンピオンで地元熊本の畑尾 樹璃 (#1 / ホンダ) が帰国参戦。世界チャレンジで培った強さを披露する。開幕戦で圧倒的なスピードを見せた新女王の座に向かって突き進んできた本田と今回がゼッケン 1 を付けての初レースとなる畑尾。ライバルたちの暑いバトルから目が離せない。

中島 激也 (#215 / ヤマハ) が安定した強さを見せる IB Open クラスはもちろん、地元ライダーが多数エントリーしているやジュニア、チャイルドクラスにもぜひ注目して欲しい。コースサイドの声援がレースを盛り上げる。大きな声とアクションで応援しながら、トップライダーたちの全力バトルを堪能して欲しい。

制作・発行 / MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP: http://www.mxing.com

出力・印刷 / 東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住園地5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax. 03-5284-1174
HP: http://www.topc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会発行・無料

PREVIEW-HSR KYUSYU

モトクロス観戦を楽しむポイント
一、好きなライダーを一人見つけておく。
二、横一線、ド迫力のスタートを見逃すな!!
三、コースサイドから大声で応援しよう!!

第1戦	九州大会	4月13~14日	熊本県 / HSR九州
第2戦	関東大会	5月11~12日	埼玉県 / オフロードヴィレッジ
第3戦	中国大会	6月1~2日	広島県 / グリーンパーク弘楽園
第4戦	SUGO大会	7月6~7日	宮城県 / スポーツランドSUGO
第5戦	東北大会	7月20~21日	岩手県 / 藤沢スポーツランド
第6戦	近畿大会	9月14~15日	奈良県 / 名阪スポーツランド
第7戦	九州大会	10月12~13日	熊本県 / HSR九州
第8戦	MFJ GP	10月26~27日	宮城県 / スポーツランドSUGO

全日本モトクロス選手権 第7戦 九州大会 開催おめでとうございます。



携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。

THINK PINK! 11人に1人が乳がんになる時代。大切な人を守るために、まずは「知ること」が大切です。

定期的な検診をおこないましょう!

ピンクリボンブースでは、「乳がん」についてのパネル展示、ピンクリボングッズ販売等おこなっています。是非、お立ち寄りください。

全日本レディーズ選手会は「ピンクリボン活動」を応援しています。

Arai HELMET

安全性能の追求!

株式会社アライヘルメット
〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL (048) 641-3825
http://www.arai.co.jp/

IRIDING SPOT

PERFORMANCE PRODUCTS.

モータースポーツからツーリングまでバイクライフをサポートする

(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

suspension service

Technix

WWW.technix.jp